

# 令和8年度

## 各種がん検診の注意事項



皆様の健康を守るため、各種がん検診をぜひ受けて頂きたいと思っております。ただし、安全で有効に検診をお受け頂くためには、様々な注意点が 있습니다。安全のため、集団検診での受診ではなく、主治医やかかりつけ医での受診をお奨めする場合がありますのでご了承ください。受診をご希望される方は事前に以下の内容をご覧頂いておりますと、受診の際に参考になるかと思ひます。

### 肺がん検診

#### ▶原則的に集団検診では実施できない人

- ・医療機関で肺がん、結核、その他の呼吸器疾患の治療中または経過観察中の人
- ・妊婦および妊娠している可能性のある人
- ・6ヶ月以内に血痰があった人

#### ▶喀痰（かくたん）細胞診検査について

- ・痰の採取にあたっては容器上部のシールをきれいにはがして、痰を入れた後、ただちに強く振とう（通常約50回位）し、痰を完全に溶かすようお願いします。

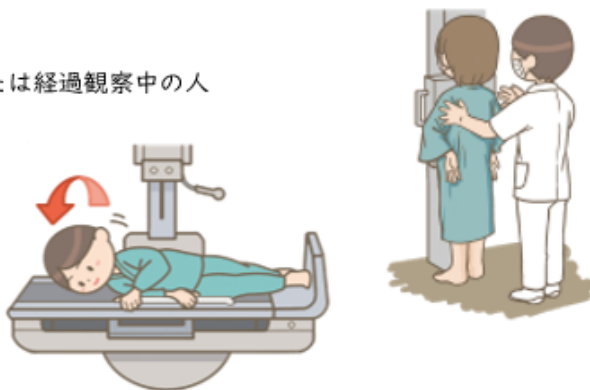
### 胃がん検診

#### ▶胃がん検診の受診を希望される人へ

- ・受診前日の午後10時以降から当日健診終了まで、何も食べないでください。
- ・飲水については、当日の朝7時までにコップ1杯程度（約150ml）の水は可とする。
- ・内服薬（血糖降下剤を除く）は、当日朝7時までにコップ1杯程度（約150ml）の水は内服可とする。
- ・当日の喫煙やガムは避けてください。

#### ▶原則的に集団検診では実施できない人

- ・医療機関で胃がん、その他の胃腸疾患の治療中または経過観察中の人
- ・妊婦および妊娠している可能性のある人
- ・胃、食道、十二指腸、腸の切除術を受けた人
- ・血圧値が（上）180mmHgまたは（下）110mmHg以上の人
- ・大腸憩室炎の既往がある人
- ・人工透析中の人
- ・便秘（3日以上）の人
- ・自力で体位変換が困難な人
- ・高齢の人
- ・メニエール病の人
- ・体調不良の人
- ・全身衰弱の強い人
- ・受診前日の午後10時以降に食事をされた、または検査当日の朝7時以降に飲食（水も含む）された人
- ・硫酸バリウム製剤に対し、過敏症（蕁麻疹、喘息など）の既往歴がある人
- ・今までに医療品や食品などで過敏反応を起こしたことがある人
- ・喘息、アトピー性皮膚炎などがある人
- ・誤嚥を起こす恐れのある人（高齢者、脳血管障害（脳梗塞・脳出血後）、嚥下困難、喘息など）
- ・過去1年以内に心疾患や脳血管疾患の発作、または手術を受けた人
- ・認知症や精神疾患があり、指示通りに動くことのできない人
- ・消化管の閉塞またはその疑いのある人
- ・消化管に急性出血のある人、出血を生ずる恐れのある人
- ・消化管の穿孔またはその疑いのある人、穿孔を生ずる恐れのある人



### 前立腺がん検診

#### ▶前立腺がん検診の受診を希望される人へ

- ・50歳以上の男性は受診できます。

#### ▶原則的に集団検診では実施できない人

- ・前立腺がんで手術をした人
- ・医療機関で前立腺がん、その他の前立腺疾患の治療中または経過観察中の人